

入院診療計画書

診断名:(右 ・ 左)大腿骨(頸部 ・ 転子部)骨折

治療方針:人工骨頭挿入術・観血的骨接合術

病棟:

様

年 月 日

特別な栄養管理の必要性 : 有 ・ 無

推定される入院期間 : 約 14～21日間

主治医:

担当看護師:

患者様サイン欄:

ご家族サイン欄:

No.1

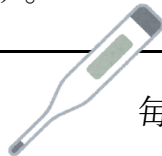
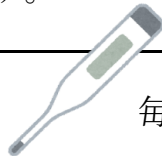
	入院日～手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)
達成目標	・手術にて対して理解が出来る	・手術の準備ができる。	・術後早期合併症を起こさない。 ・寝返りが出来る。 ・アイシングについて理解ができる。
安静度・リハビリ・退院	オリエンテーションを行います。		
食事	通常通りに食べられます。 	水分(水・お茶)摂取が可能です。 別途指示します。	看護師の指示があるまで飲んだり食べたりできません。 夕食から食事再開になります。 ※嚥下状態によって、食事形態が変更になることがあります。
注射・薬剤	持参薬を確認します。 お薬手帳と内服薬を看護師に全て預けてください。 (場合によっては中止させていただきます) 点滴の管を確保します。	点滴を繋ぎます。 麻酔科指示通りに服薬してください。 	手術後も点滴をします。 状態に応じて鎮痛剤や制吐剤の処置をするので、 早めに看護師にご連絡ください。
検査	毎日体温・脈拍・血圧を測ります。	6時に体温・脈拍・血圧を測ります。 	採血を行う場合があります。
処置	手術をする側に医師が印をつけます。	手術前に身に付けているものは全部外し、 手術着に着替えてもらいます。 下肢血栓予防のためフットポンプを装着します。	心電図モニターをつけます。(医師の指示があるまで外 せません) 医師の指示があるまでは酸素マスクをつけます。
清潔 (シャワー・入浴 など)	シャワー浴をしていただきます。 (家で入ってる場合は不要です)		
排泄	骨折のためベッド上で排泄が基本となります。 可能であればトイレを利用します。		尿管が入ってきます。尿は管から自然に出るようになります。
患者様及び ご家族への説明	入院後の生活について説明します。 入院計画書の説明をします。 手術前に医師・看護師が手術に関する説明をします。 (手術看護師も伺います) 麻酔科による手術前の診察があります。		医師から家族または本人へ手術後の説明があります。

注1) 病名及び治療内容等は、入院時に考えられるものですので、検査・治療を進めていくにしたがい変更することがあります。

注2) 入院期間、表記の日時については入院時での予定です。

板橋中央総合病院

病棟： _____ 様

	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4～5日目	手術後6日目～	退院日
達成目標	・痛みのコントロールができる。 ・車椅子に乗ることができる	・歩行器を使用して棟内を自由に歩ける			・日常生活動作が行える	・退院が出来る
安静度・リハビリ・退院	車椅子に乗る練習をします。 寝がえりの練習をします。	歩行器・杖を使用した歩行訓練をします。 				退院・転院可能です。
食事	普段通りに食べたり飲んだりできます。 嚥下に不安がある場合STが評価し、ゼリーやペースト食から食事を開始します。					
注射・薬剤	抗菌薬と水分補給のための点滴 があります。 終了後、抜針します。 	術後は下肢の血栓(深部静脈血栓)予防のためへパリンの皮下注射を行います。 開始のタイミング、期間は担当医師が判断します。  				
検査	 毎日体温・脈拍・血圧を測ります。		適宜、採血・レントゲンの撮影を行います。			
処置	出血が多ければ、創部の消毒を 行います。	創部に異変がないかは保護剤の上から確認します。 必要に応じて処置を行います。			10日～14日で創部の保護剤をはがします。	
清潔 (シャワー・入浴 など)	状態に応じて蒸しタオルで身体を拭いたり・髪の毛を洗う事が出来ます。医師の指示のもとシャワー浴が可能になります。					
排泄	朝、尿管を抜きます。 車椅子でトイレに行くことが できます。	車椅子や歩行器、杖を使ってトイレに行くことができます。				
患者様及び ご家族への説明						退院療養計画書の説明をします。 薬剤師が退院後の薬の内容と管 理について説明します。

注1) 病名及び治療内容等は、入院時に考えられるものですので、検査・治療を進めていくにしたがい変更することがあります。

注2) 入院期間、表記の日時については入院時での予定です。

板橋中央総合病院